# 第15回 全国JO春季大会 報告

NO.
DATE 平成19年 3/30~4/1

加西校 嶋谷秀樹

結果は別紙の通りです。今回のJOは2名とも各グループの最終シーズンであり、ねらっていた優勝が出来、満足しています。記録は、衣笠が3種目とも県の学童記録、村上は10才以下(背泳ぎ)の大会記録と、申し分のない ものと思われます。特に2名とも個人メドレーで良い成績で泳げたのが、今後のポイントとなってくると思います。背泳ぎは2名とも、各グループでの泳ぎとしてはほぼ完璧なテクニックだと思われ、普段の練習の成果が発揮できたようです。

※個人結果 ―衣笠―

個人メドレーの大幅な記録ののびが本人の力を表わしており、今後ますます高い目標がもてそうである。背泳ぎは日本学童記録を目標にやってきたが、記録には手が届かなかった。最終日の50Bとは勝って当然、ねらうは記録という中び勝負以外の欲がでて負けたが、今後 衣笠が日本のトップとなっていく上で非常に良い経験が出来たと思う。

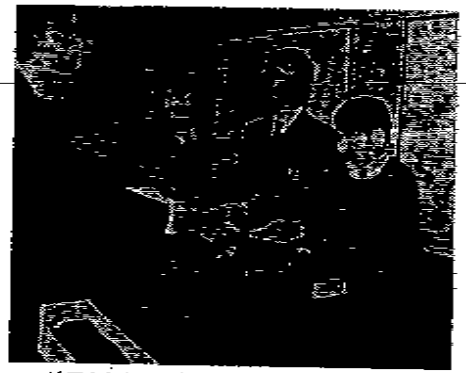
―村上―

小4になってからの爆発的な記録ののびで とうとう1位になってしまったというかんじである。記録ののびは、当然、本人のめざす衣笠といっしょに練習していることもあるだろうが、それ以上に本人の素質であると思われる。年令からは考えられない持久力、背泳ぎでは衣笠に負けない大きな泳ぎとテクニック、今後大きな目標にむかってがんばってもらいたい。

衣笠は次のグループへ移って戦うわけであるが、2名ともまだ子供、4年後、8年後、いっしょに笑うことを夢みて、そのステップを ふんで行きたいと考えます。

以上

KYOKUTO



練習をたたえられ、「さわやか市民賞」を受ける村上克宏君＝加西市役所

## 全国大会背泳ぎ「金」
## 村上君にさわやか市民賞

加西

加西市は、全国ジュニアオリンピックの背泳ぎで金メダルを獲得した同市北条町横尾一、村上克宏君(一〇)＝市立北条東小五年＝にこのほど「さわやか市民賞」を贈った。

克宏君は、三月に東京スイミングセンターで行われた同オリンピック春季水泳大会の男子七歳以下五十メートル背泳ぎに出場し、大会新記録の31秒56で優勝した。

克宏君は、父の歯科医正人さん(四〇)の勧めで三歳のころから、兄の智宏君(一三)＝市立北条中二年＝が通っていた市内のスイミングスクールで水泳を始めた。

「野球やサッカーより水泳が好き」というだけに、平泳ぎ、クロール、バタフライなど泳ぎはメキメキ上達。小学三年のころから、選手育成コースに入り週に五日間、毎日二時間余の厳しい練習を続けている。同大会では、個人メドレーでも四位に入賞、着実に育っている。

父とともに市長室を訪れた克宏君は、藤岡喜弘市長から同市民賞の盾と金メダルを贈られて大喜び。「水泳ぎは一番自信があった」という。